

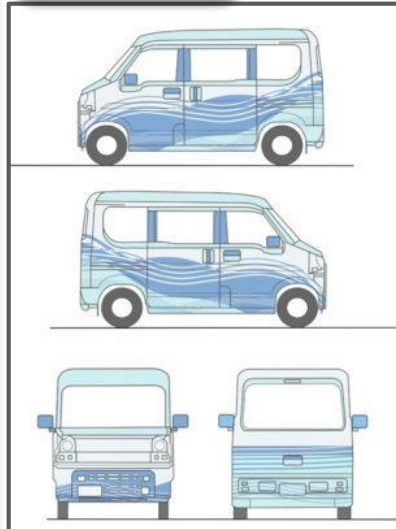
topic
01

デザイン科 3年生

有田町上下水道課の公用車をデザイン

有田町の上下水道課に新しい公用車が導入され、上下水道のPRを兼ねたデザイン画の依頼が本校デザイン科にありました。車のラッピングのデザインを40名の生徒たちが企画し、その中から、原田陽花さんのデザインが採用されました。流れる水をイメージした波のような絵柄が全体を覆い、水道だけでなく、水環境についてのメッセージも伝わるように、色も青に少し緑を入れる工夫をしています。役場の担当者の方とラッピングの委託業者の方、原田さんが打ち合わせをして最後の調整をしました。

まもなく公用車が町を走り始める予定ですのお楽しみに。

採用になった
原田陽花さんの
デザイン画3人で
打ち合わせ中♡出来上がって
きているのを見て
ニッコリ笑顔♡topic
02

窯業研究部

畑ノ原登り窯焼成体験事業

10月21日(土)、窯業研究部10名が波佐見町にある畑ノ原窯跡で、焼き物の焼成体験を行いました。一週間前に自分たちで作品の窯詰めを行った登り窯に、朝9時に火を入れて窯焚きの開始です。窯焚きは温度管理が大切です。生徒たちも自ら薪を入れ、夜通し交代で温度を管理しました。焼成は翌日の22日(日)まで、約30時間連続して行われました。

この夜はかなり冷え込みましたが、最後までやり遂げる貴重な体験を得ることができました。また、登り窯を守っておられる地元の方々や中学生、高校生と交流できたことも良かったです。

運営に携わっていただいた関係者の皆さま、ありがとうございました。



波佐見町畑ノ原窯跡地

地元の方の
説明を熱心に
聞いています

有工生徒

火入れ式の
様子です大きい薪を
入れます行くぞ!
そりゃ♡出来上がりの
焼き物を
チェック中

秋晴れの中、10月17日(火)に4年ぶりに開催された「第62回有田皿山まつり」。

お祭り広場で、第1部のトップを飾るのは、本校の吹奏楽部です。毎年、地域の人たちは、本校の吹奏楽部を楽しみに路上で待っています。

大勢の観覧者の中で、オープニングにふさわしい「ファンファーレ」の曲から始まり、「ど演歌エクスプレス」「学園天国」の3曲を披露しました。本校生徒たちも楽しく演奏し、観客から盛大な拍手を頂きました。暑い中、本校の吹奏楽部を聞いてくださった、地域の皆さまにお礼申し上げます。



10月31日(火)本校セラミック科2年生の生徒9名が、有田中学校2年生の焼物制作の授業に指導補助として参加しました。

1学期には小学校に出向いて補助をしましたが、小学生には楽しく作ってもらうことがメインでした。中学生にはこれまで授業で習ってきた技術を教えることができ、教えることの楽しさやコミュニケーションの大切さがわかったのではないのでしょうか。

中学生の皆さん、有田中学校の先生方、楽しく充実した時間をありがとうございました。



10月21日(土)・22日(日)の2日間で「地域みらい留学生」に興味を持たれている方を対象にしたオープンスクールを開催しました。本校は、全国から意欲ある生徒を集めて人材育成を行うことで、学校の活性化と地域の活性化を図ることを目的として、セラミック科とデザイン科で全国募集を行っています。

オープンスクール1日目は、セラミック科希望の方はろくろ体験等を、デザイン科希望の方はデジタルデザイン実習等を楽しみました。2日目は、住居環境や窯元の工場見学など町内を散策し、本校や有田町に魅力を感じてもらったことと思います。遠方から本校へ見学に来て頂きありがとうございました。



校長先生のご挨拶！
周りは保護者と生徒の皆さまです



徳永陶磁器さんで
工場見学



みんな真剣
に楽しく制作に
取り組んでいます

